

## 美祿社会復帰促進センター視察・ヒアリング結果概要

日 時：平成20年10月15日（水）

内 容：美祿社会復帰促進センターの視察と関係地方公共団体・民間事業者からのヒアリング

## 【山口県】

美祿市が刑務所の誘致活動を行うに当たって、いろいろな意見もあったが、地元の意向を尊重し、県も全庁をあげて、誘致や美祿社会復帰促進センター（以下「美祿センター」という。）の整備等に係る支援を行ってきた。

美祿センター事業については、県が進める政策にも関わって、いろいろな面で支援を行っている。例えば荒廃する竹林の整備対策と関連して、刑務作業を導入した竹材利用事業への支援を行い、改善指導について県立大学等が提携するなどしている。

美祿市ではこの事業により地元食材の購入、雇用の促進、人口増加、税収増加など様々な効果があった。刑務所業務の民間委託により、地域に様々な効果が出ており、刑務所業務の市場化テスト導入については促進すべき。

特区では、認定申請に地方自治体が関与することで、地方自治体と国との連携が深まったとは考えるが、特区制度は当時の状況において、刑務所業務の民間委託を進める上で便利な仕組みとしてあえて利用したに過ぎないと認識している。そういう意味で、民間委託を既存の施設に拡大する場合に、特区制度と同様の手続は必要ないと考えるが、地方自治体として何らかの関わりを持つことは有益かもしれない。

当県には元々他にも刑務所があるが、県民感情として、刑務所への拒否反応のようなものはない。

## 【美祿市】

誘致の当初は、地元でも迷惑施設ということで反対の声があったが、地元の人々に繰り返し根気よく説明することで最後には理解が得られた。

美祿市では、美祿センター事業によって、定住人口の増加、過疎地域における雇用創出、子供の増加、税収の増加などの効果が得られた。

刑務所における民間委託の活用はメリットが大きいと考えている。今後、これを活用するに当たっては、入札提案書の作成段階から地元との対話をしっかりと行うことにより、地元での満足度も高まると考える。

美祿センターは犯罪傾向が進んでいない者、いわゆる「超A級」を収容する施設であると地元の説明してきたが、犯罪を重ねた人を収容する施設であれば、地元の受取り方は違ってくると考えられる。しかしながら、本事業を展開することについて、プラス面が大きいことをしっかりと説明すれば、地元の理解は得られると考える。

## 【民間事業者】

（業務全般：社会復帰サポート美祿（株））

この事業への参入は、刑務所の過剰収容問題などがある一方で新たな施設の建設や職員の増加が難しいという事情がある中で、民間事業者に期待されているという社会的な意義を感じて参入した。

官民協働で運営を行っており、開庁から1年半が経過したが、これまで契約上のペナルティーが課されたこともなく、うまく稼働している。

官民の連携に当たっては、官民間で毎日協議を行っており、情報共有を図っている。また、民間同士の連携についても、問題なく行われている。

(警備業務：セコム(株))

民間委託の効果としては、国の職員の業務負担を軽減することのほか、民間の創意工夫により、システム化を進めて保安機能のアップを図るとともに、合理化による配置削減を行っている。

既存の施設への拡大に当たっては、積極的なシステム化ができるか(施設改修の制約)、施設ごとの運用方法の違い(情報開示の必要性)、官民の役割分担の明確化(事前協議による透明性確保の必要性)という課題がある。

契約については、雇用確保や人材の育成期間を考えた場合、契約年数など、いろいろと考える必要がある。

民間事業者が交替する場合の警備機器の扱いについては、前の事業者のシステムを他社が使うことの問題があり、事業者として運用できるかという問題がある。契約期間をシステムの改修期間に合わせることも考えられる。

上記により、同じ刑事施設であっても、それぞれ特性が異なると考えられ、個々に事業性を判断する必要がある。

(職業訓練・教育業務：(株)小学館集英社プロダクション)

これまでに、地元の大学や地域の企業と協力することにより、職業訓練(15種類)、改善指導(6種類)など様々なプログラムを開発することができた。

これまで、部分的に国でしていたものを民間で一括してすることにより、地域の人材、資源を活用し、柔軟かつ効果的な運用ができた。

民間委託の拡大については、民間として特別なことをやっているわけではなく、民間が参入しやすい業務。ただ、1つの施設だとスケールメリットがなく、いくつかの施設を一括して市場化する方が参入しやすいのではないかと。

民間だからこそいろいろなところに協力を求めることができ、フレキシブルに対応することができる。

(収容関連サービス：エームサービス(株))

食材の購入に当たって、地元で協力いただいております。雇用も地元から行っている。

温冷配膳車の活用やクックチル方式などで創意工夫を発揮している。

既存の刑務所に拡大するに当たっては、刑務所のいくつかを一括りにしてやれば、スケールメリットを発揮して効率的に実施できる。

(以上)